• p.14 U(t) の計算

時間並進の演算子は ke^{-iHt} \mathcal{K} なので、 x_0 から x に遷移する確率振幅 U(t) は

4 行目では運動量の固有値を取るので、指数関数はブラケットの外に出すことができる。

• p.14 二つ目の式の計算

$$\begin{split} \int d^3p e^{-it\sqrt{p^2+m^2}} e^{ip\cdot(x-x_0)} &= \int_0^{2\pi} d\varphi \int_0^{\infty} p^2 dp \int_{-1}^1 d\mu e^{-it\sqrt{p^2+m^2}} e^{ip|x-x_0|\mu} \\ &= 2\pi \int_0^{\infty} p^2 dp \frac{1}{ip|x-x_0|} e^{-it\sqrt{p^2+m^2}} (e^{ip|x-x_0|} - e^{-ip|x-x_0|}) \\ &= 4\pi \int_0^{\infty} dp p \, \sin(p|x-x_0|) e^{-it\sqrt{p^2+m^2}} \end{split}$$